

基本目標Ⅰ 男女が互いの人権を認め合う意識づくり

男女共同参画の考え方は、以前に比べると徐々に浸透してきたものの、長い歴史や伝統の中で社会的に形成された「男は仕事、女は家庭」といった考え方に代表されるような性別による固定的な役割分担意識は依然として残っています。こうした考え方は、一人ひとりの多様な生き方を制限する要因となり、とりわけ女性が主体的に生きるための自由な選択や能力発揮の妨げとなっています。また、「生活費を稼ぐのは夫の仕事」といったような固定的な意識が、男性にとってプレッシャーとなることもあります。

男女共同参画社会の実現のためには、性別による固定的な役割分担意識、偏見や性差別などが社会的に作られたものであることを一人ひとりが理解し、意識を改革していく必要があります。また、国際社会の取り組みや先進事例といった情報を収集・活用するなど、国際的な視野を持つことも大切です。

男女が社会の対等なパートナーとして活躍できるよう、お互いの人権を認め合う意識づくりを進めます。

1 男女共同参画についての理解・意識づくりの推進

社会制度や慣習の中に形づくられてきた、性別による固定的な役割分担意識を改善していくために、継続して理解・意識づくりを推進していく必要があります。

(1) 家庭・学校・地域等における理解・意識づくりの推進

家庭や学校、地域等のあらゆる場面において、男女共同参画の趣旨や取り組みについての理解・意識づくりを推進していく必要があります。

主な取り組み

◎人権啓発リーフレットの作成・配布（社会教育課）

小・中学校の人権標語やポスターを掲載したリーフレットの全世帯への配布を行う事業

◎地域人権活動ネットワーク事業（社会教育課、市民課）

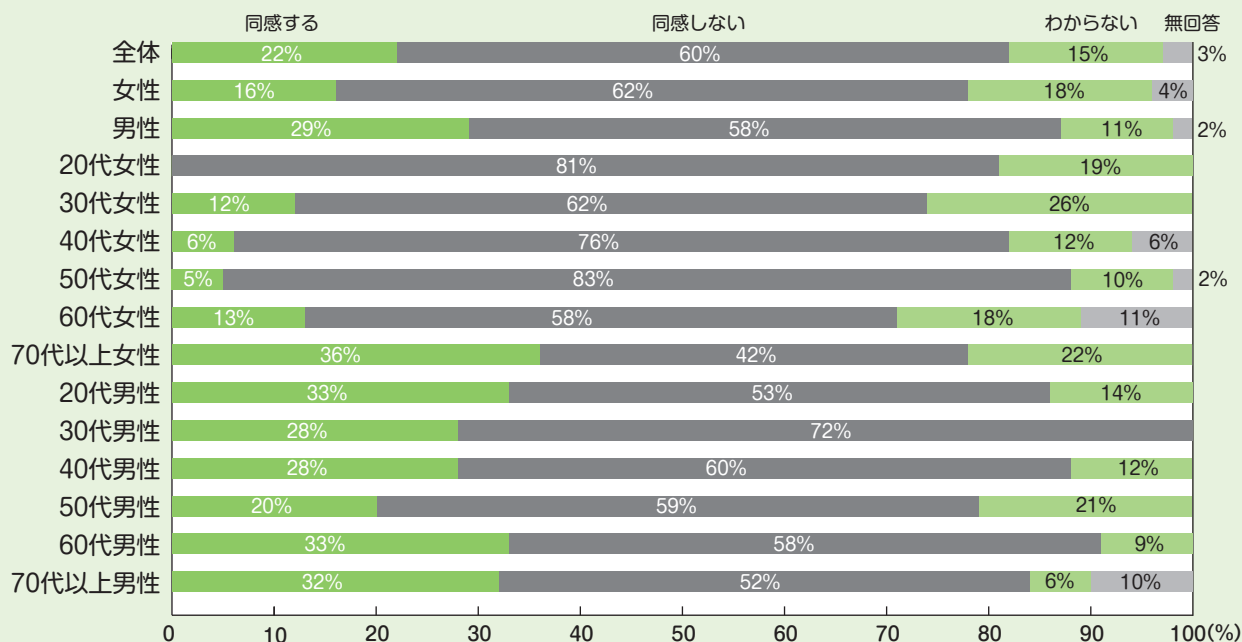
法務局や人権擁護委員協議会と連携して、講演会の開催や相談事業、啓発活動を行う事業

◎男女共同参画啓発・研修事業（社会教育課、企画課）

広報紙・ホームページ等による広報・啓発活動や研修会を通じて、男女共同参画に関する市民の意識を醸成する事業

問 「男は仕事、女は家庭」という役割分担についてどう考えますか？（H23 市民意識調査結果）

全体では「同感しない」（60％）という回答が約6割となっており、「同感する」（22％）を大きく上回っている。性別では、「同感する」という男性（29％）の割合が女性（16％）より高くなっている。



目 標

目 標	平成22年	平成28年	平成33年
「男は仕事、女は家庭」に代表されるような固定観念に同感しない人の割合	60%	80%	100%
市内で開催する男女共同参画学習会・研修会の回数	4回	5回	6回

（2）男性・子どもへの理解・意識づくりの推進

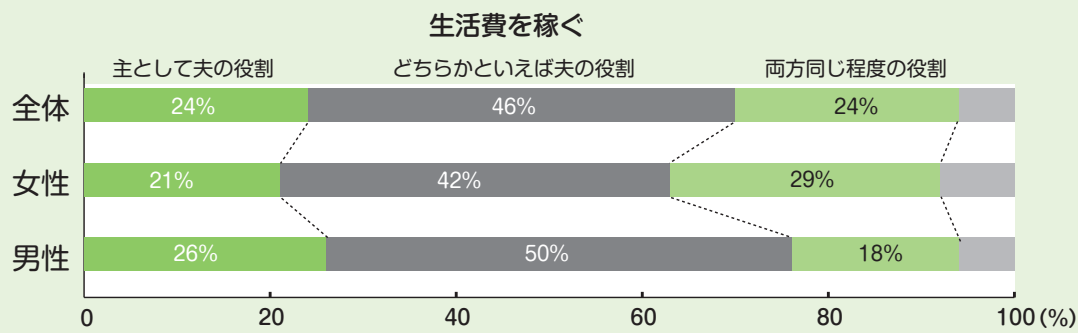
男性が果たす役割や幼少期からの教育が非常に重要であることから、男性、子どもへの理解・意識づくりを推進していく必要があります。

主な取り組み

- ◎男性の参加を促す学習会等の開催
- ◎親子で参加できる学習会等の開催



問 家庭での仕事の役割についてどのようにお考えですか？（H23 市民意識調査結果）



（3）広報・啓発活動による理解・意識づくりの推進

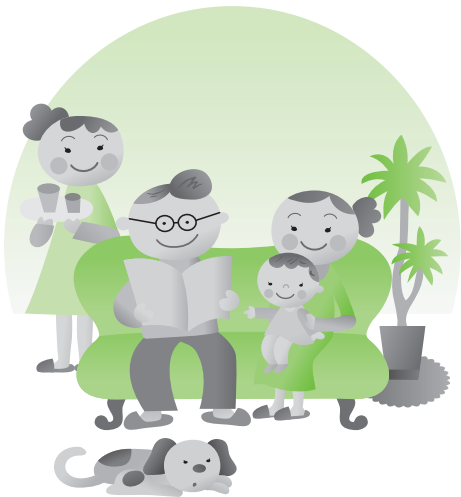
広く市民に対して広報・啓発活動を行うことにより、男女共同参画に関する理解・意識づくりを推進していく必要があります。

主な取り組み

- ◎男女共同参画に関する情報収集（企画課）
- ◎広報紙、市ホームページ、行政チャンネル等を活用した情報提供（秘書課）

目 標

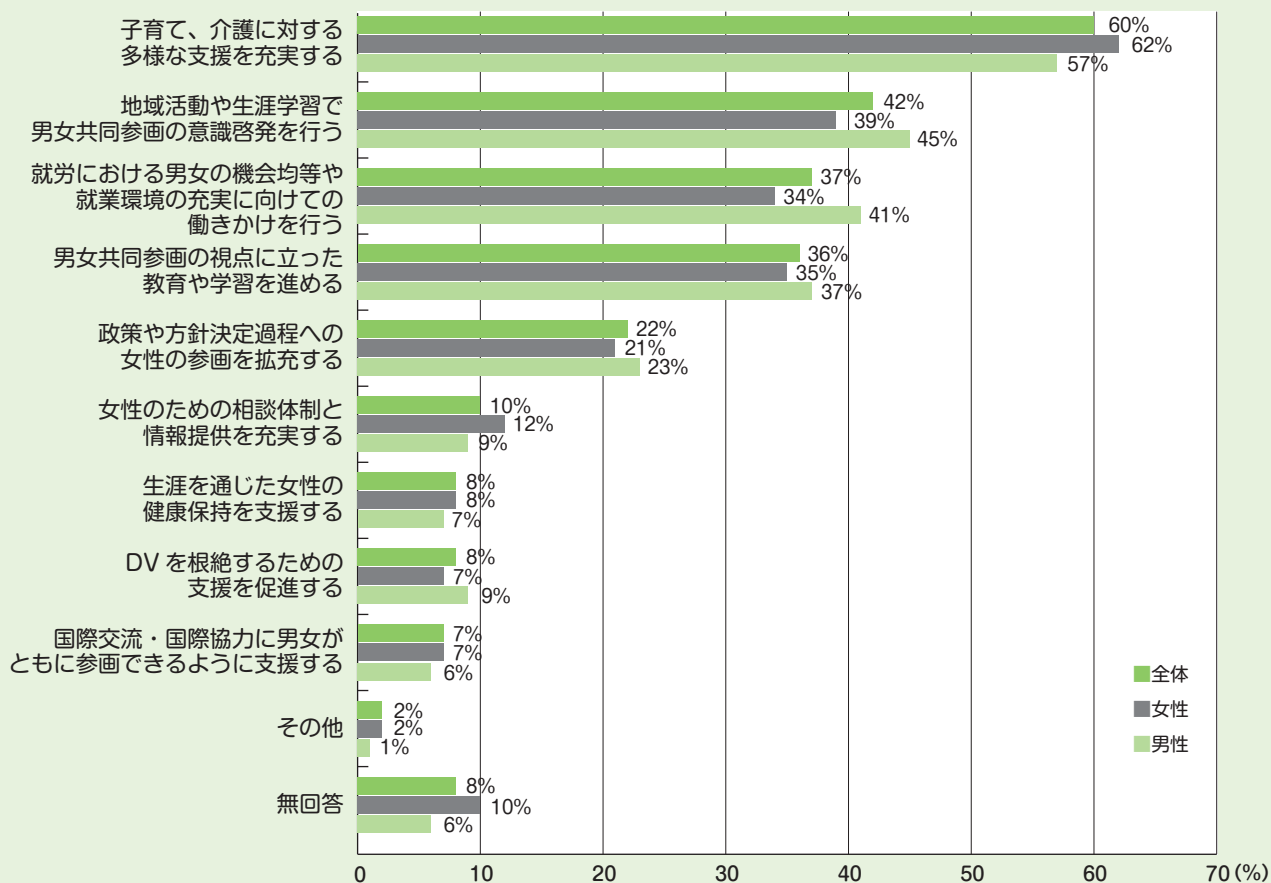
目 標	平成22年	平成28年	平成33年
広報紙・行政チャンネル等を活用した男女共同参画に関する広報回数	10回／年	15回／年	20回／年



問 男女共同参画社会形成のためにどのようなことに力をいれていくべきだと思いますか？

(H23 市民意識調査結果)

全体では「子育て、介護に対する多様な支援を充実する」(60%)が最も高く、次いで「地域活動や生涯学習で男女共同参画の意識啓発を行う」(42%)、「就労における男女の機会均等や就業環境の充実に向けての働きかけを行う」(37%)となっている。



2 国際的視野に立った男女共同参画の推進

国際社会の取り組みや先進事例といった情報を収集し、活用等していくとともに国際的な視野を持った人材を育成していく必要があります。

(1) 国際社会の動向の把握

国際社会における取り組み等について、動向の把握に努める必要があります。

主な取り組み

- ◎男女共同参画に関する情報収集（企画課（再掲））
- ◎広報紙、市ホームページ、行政チャンネル等を活用した情報提供（秘書課（再掲））

(2) 国際理解・国際交流の推進

国際交流などを通じて、国際的な視野・感覚を持った人材の育成を推進していく必要があります。

主な取り組み

- ◎トロイ市との相互派遣事業（企画課）
国際姉妹都市であるアメリカ・トロイ市との交流を通じて相互の国際理解と友好親善を図る事業
- ◎市民と留学生との交流会事業（企画課）
市民と留学生との交流の場の創出事業

